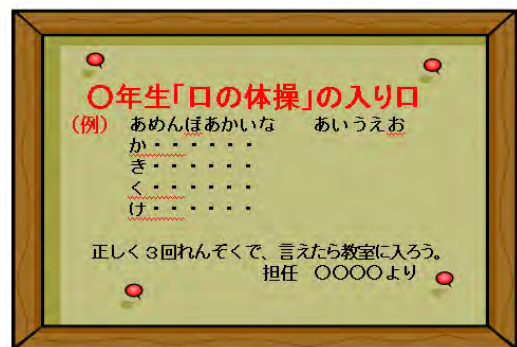
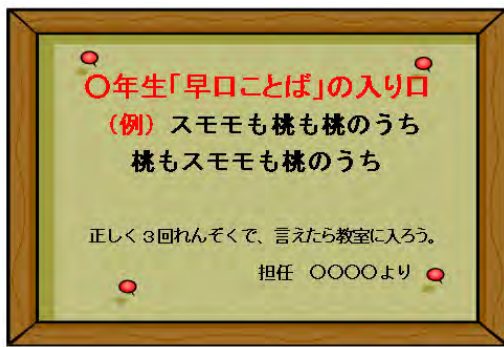


2 - 3	<p style="font-size: 18pt; font-weight: bold;">「学びの入り口」を使って</p> <p style="font-size: 14pt;">～ 声に出して活動するためのワークシート～</p>
-------	---

【児童が自主的に、繰り返して活動するためのアイデア】

- 1 前日の放課後（当日の朝、児童が登校する前）に教室の入り口に次のような紙を貼り付けておく。
  - 複式学級の場合、前と後ろの入り口に各学年に応じた内容のもの別々に貼り付けるとよい。



- 2 朝、児童が登校したとき、紙に書かれてある内容に従い、教室の入り口の前で各自で行う。
    - 不定期に実施することで、児童は楽しみにして教室へやって来るようになる。毎日だけでなくともよいが、ある程度継続させるとよい。
    - 目指すのは、教師がいなくても活動できる学級づくりであるため、厳密な評価は必要ない。
  - 3 できた児童から教室に入室する。
    - 教師が教室で待っておき、対教師でやる日があるなど、変化を付けるとよい。
    - 学習と関連付けたり、朝の会や授業の導入で取り上げたりすることで、さらに意欲化を図ることができる。
  - 4 話す活動に関する以外にも利用可能である。
    - 例 ・九九（六の段を3回言ってから教室に入ろう！ など）
    - ・公式（三角形の面積を求める公式は何？ など）
    - ・詩（教科書にある短い詩を載せる など）
- ◎ あくまでも、楽しく、繰り返して取り組むことが大切です。児童からアイデアを募集したり、係活動として教師と曜日を分担して行ったりすることも考えられます。高度になり過ぎ、できないからといって、いつまでも児童がろう下にいることのないように気を付けましょう。